

「地域健康ケア計画」の令和3年度以降の方向性について

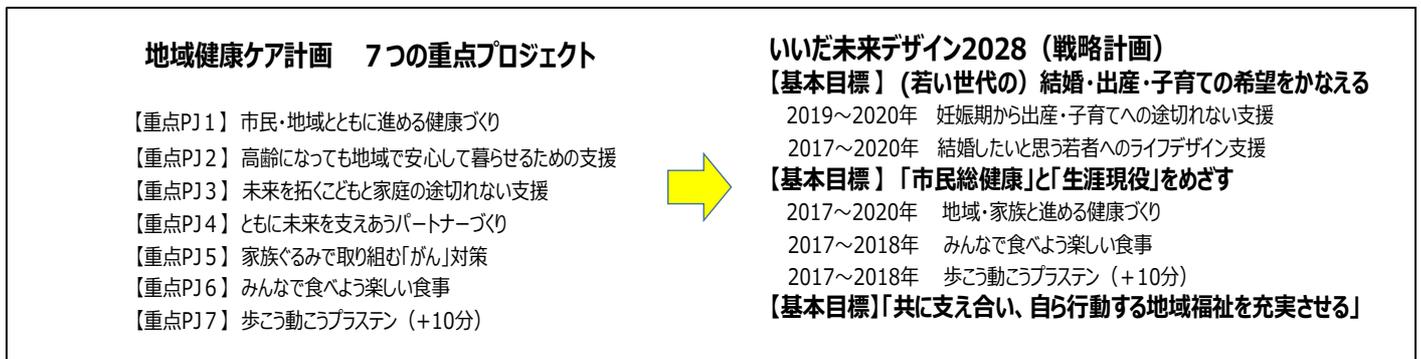
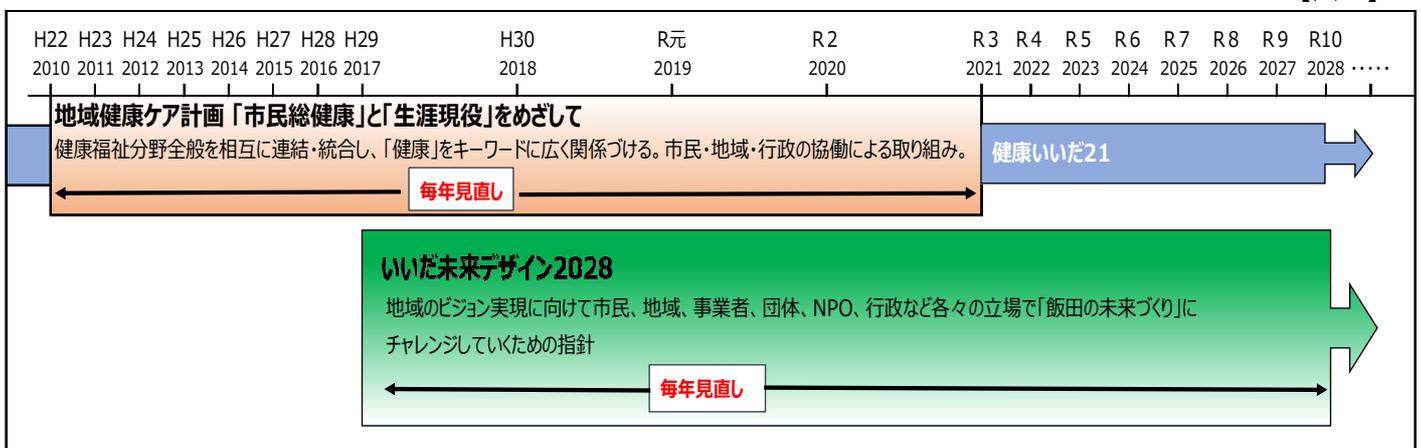
保健課

平成22年度に策定した「地域健康ケア計画（以下、ケア計画という。）」は、健康福祉分野の各事業を健康というキーワードでつなぎ、7つの重点プロジェクトを掲げ、毎年見直しを行い推進し10年が経過しました。この間、特定健診の受診率の増加、介護予防サポーターの増加に伴う地域での取組の拡大、妊娠期から学齢期まで途切れない発達支援体制づくり、結婚希望者への相談支援やイベントの開催、まちづくり委員会の協力を得てがん検診受診者数及びがん発見数の増加、プラステンの認知度及び実践者の割合向上など、一定の成果を上げました。

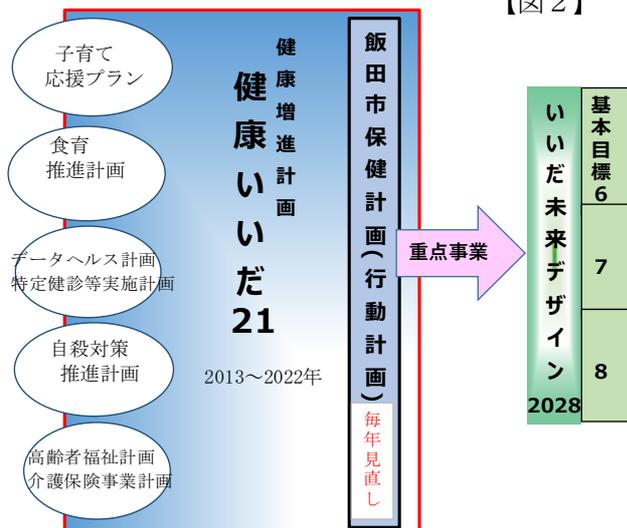
平成29年度（2017年）に「いいだ未来デザイン2028（以下未来デザインという。）」がスタートし、ケア計画の重点プロジェクトは、市の総合計画である未来デザインの戦略計画に位置付けられることとなりました。こうした状況を踏まえ、中期計画策定のこの機会にケア計画を終了します。

令和3年度からは、子育て応援プラン、高齢者福祉計画・介護保険事業計画のほか、毎年策定している「飯田市保健計画（行動計画）」の重点的な取組を、未来デザインの戦略計画に掲げて展開していきます

【図1】



【図2】



飯田市保健計画（行動計画）とは健康いいだ 21（飯田市健康増進計画）に掲げた目標の達成に向けて、毎年、市の健康実態を分析し課題を解決していくための具体的な行動計画です。

その具体的施策を「いいだ未来デザイン2028」の基本目標6「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」基本目標7「市民総健康と生涯現役」基本目標8「共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる」の戦略で実施していきます。